

令和3年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

1 市税等の収納状況

(1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化・安定と年々増加傾向にあった収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取組を行っている。令和3年度の収納状況は、次の表のとおりである。

収納実績は、調定額 5,708,852千円に対し、収入済額は 5,480,479千円、不納欠損額 8,161千円、収入未済額 220,212千円、合計収納率は 96.00%となり、現年度分の収納率は、第2次遠野市総合計画前期基本計画まちづくり指標に掲げた 97.54%を0.50ポイント上回る 98.04%、滞納繰越分の収納率は50.48%となった。

前年度の調定額との比較では、現年度分で 153,907千円の増、滞納繰越分で33,831千円の減、合計で 120,076千円の増となった。

同じく収納率の比較では、11の収入科目のうち7科目で合計が前年度以上となった。主なものは、奨学資金償還金が6.28ポイント、国民健康保険税が1.86ポイント、住宅使用料が0.98ポイント上回った。

収入未済額は、収納率の向上により各収入科目の合計では前年度と比較して 19,870千円の減となった。内訳として、市税と国民健康保険税の収入未済額が全体の約6割を占めている。

令和3年度収納実績

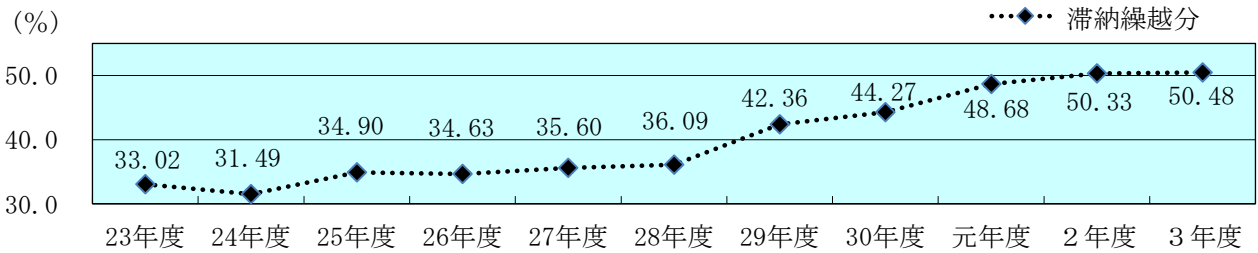
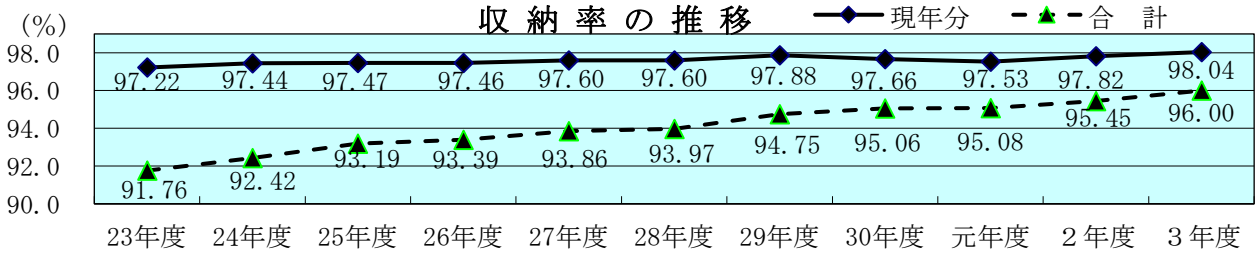
(単位：千円、%、pt)

収入科目	年度	令和3年度				令和2年度		収納率比較 (R3-R2)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	収入未済額		
市税		2,935,644	2,858,498	3,232	73,914	97.37	78,371	96.89	0.48
保育料		37,724	36,632	0	1,092	97.11	1,287	96.69	0.42
住宅使用料		95,478	80,466	0	15,012	84.28	15,961	83.30	0.98
奨学資金償還金		51,273	46,025	0	5,248	89.76	7,115	83.48	6.28
学校給食費		90,899	90,189	0	710	99.22	13	99.99	-0.77
国民健康保険税		487,849	433,759	2,386	51,704	88.91	64,730	87.05	1.86
後期高齢者医療保険料		222,844	221,679	51	1,114	99.48	720	99.68	-0.20
介護保険料		612,884	605,580	2,216	5,088	98.81	5,739	98.68	0.13
ケーブルテレビ使用料		364,937	364,784	11	142	99.96	180	99.94	0.02
下水道事業 (企業会計3月末)		174,841	159,538	21	15,282	91.25	14,976	91.58	-0.33
水道料 (企業会計3月末)		634,479	583,329	244	50,906	91.94	50,990	92.04	-0.10
合計 ①	現年度分	5,463,758	5,356,753	0	107,005	98.04	115,834	97.82	0.22
	滞納繰越分	245,094	123,726	8,161	113,207	50.48	124,248	50.33	0.15
	計	5,708,852	5,480,479	8,161	220,212	96.00	240,082	95.45	0.55
前年度 実績 ②	現年度分	5,309,851	5,194,017	0	115,834	97.82			
	滞納繰越分	278,925	140,387	14,290	124,248	50.33			
	計	5,588,776	5,334,404	14,290	240,082	95.45			
前年度 比較 ①-②	現年度分	153,907	162,736	0	-8,829	0.22			
	滞納繰越分	-33,831	-16,661	-6,129	-11,041	0.15			
	計	120,076	146,075	-6,129	-19,870	0.55			

(注) 表示単位未満四捨五入を基本に、縦計が合計①欄の計と合うよう切捨て・切上げている箇所がある。収納率は、円単位での数値で計算した結果を記載している。

(2) 収納率の推移

令和3年度における現年度分の収納率は98.04%であり、前年度と比較して0.22ポイントの増となった。また、滞納繰越分の収納率は50.48%であり、前年度と比較して0.15ポイントの増となり、7年連続で前年度を上回った。また、合計の収納率は96.00%と前年度より0.55ポイントの増となり11年連続で前年度実績を上回る結果となった。



(3) 不納欠損の状況

市税及び国民健康保険税の不納欠損は、5年時効完成による消滅が507件・3,648千円、執行停止3年による消滅が224件・1,970千円、合計では731件・5,618千円となった。

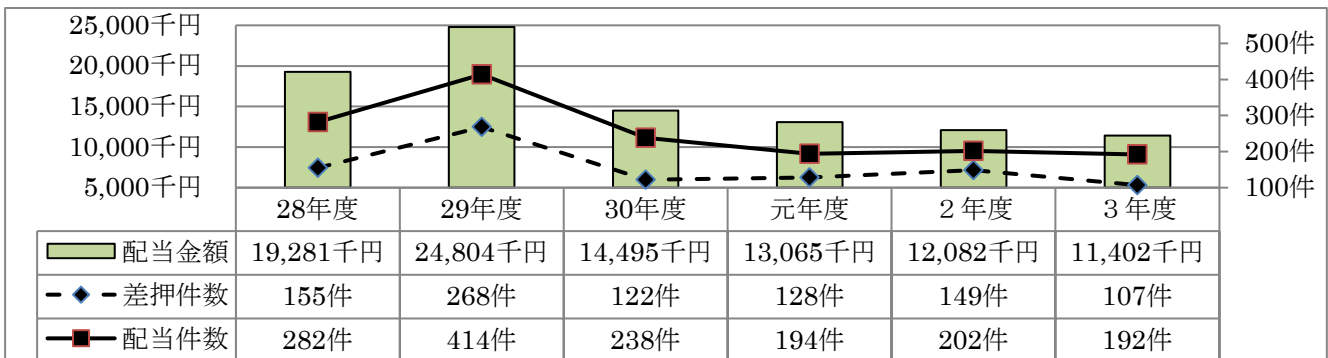
市税及び国民健康保険税以外の不納欠損は、311件・2,543千円で、主なものは、介護保険料が266件・2,216千円、水道料金が21件・244千円となった。

2 令和3年度の収納対策の取組

(1) 催告書の共同発送及び臨戸催告の実施

関係課による催告書の共同発送を5月、7月、11月の年3回実施し、その各翌月を徴収強化月間と位置付け、部課長等と公金担当課職員による臨戸催告を実施した。

滞納処分の推移



(2) その他の収納対策

新たにスマートフォンアプリ「PayPay請求書払い」及び「LINEPay請求書支払い」による納税を開始し、納税環境の向上を図った。また、口座振替の利用推進を図るため、配布チラシの見直しや市内金融機関を訪問して納税者へのチラシ配布等を依頼するとともに、遠野テレビにより納期限の案内及び税務課窓口のディスプレイやチラシ等を通じて納期内納付の啓発活動を行った。

関係課で滞納者の生活実態等の情報共有を図りながら、効率的な納付交渉や効果的な滞納処分を進めた。